

化学物質の管理



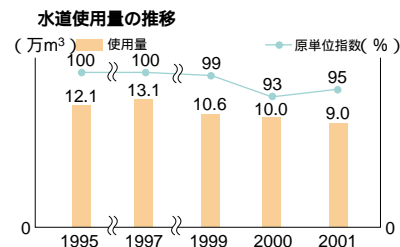
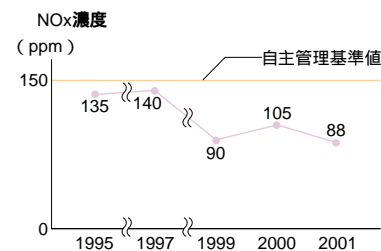
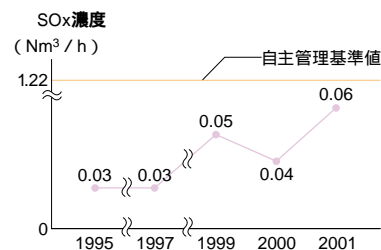
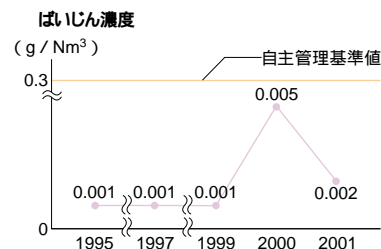
石川 二三男

(株)山武 藤沢工場 環境安全グループ
環境カウンセラー

「化学物質は管理をきちり行うことが大切ですから、社内はもちろん、協力会社を含めた教育、啓蒙が重要だと思います。」

化学物質についての考え方

化学物質の中には、人の健康や生態系に悪影響を与える物質が存在します。山武グループでは、化学物質に関する法規制の遵守、環境庁のPRTRパイロット事業への参加(1997年～)など、化学物質の適正な管理に取り組んできました。今後も化学物質の使用量そのものを削減しながら、より有害性の小さい代替物質の検討を行っていきます。



大気の大気

ボイラー排ガスは法規制や県条例よりも厳しい自主管理基準を設定し、公害防止装置の維持管理や排ガス分析による排出濃度管理を行っています。また、金属切削加工などで切削油の洗浄剤としてジクロロメタンを使用しているため、除害処理装置を設置して定期的に濃度管理を行い、大気への排出を最小化しています。

水質の大気

各工場の工程排水・生活排水・厨房排水・雨水は、水質汚染を防止するために、排水処理設備などで水質の維持管理を行い、法規制値を遵守しています。

純水の再利用

クリーンルームでは、半導体製造工程の洗浄に純水を使用しています。この排水をトイレの中水として再利用し、水資源の節減を図っています。

PRTR法への対応

PRTR法の施行(2001年4月)に対応して、化学物質の管理規定の見直しに加え、記録管理体制の整備を行いました。また、2002年4月から当初2年間は使用量が5トン以上の対象物質(04

年から1トン以上)の報告が義務付けられていますが、山武グループで1トン以上使用している対象物質を以下に示します。

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」PRTR:Pollutant Release and Transfer Register 環境汚染物質排出・移動登録

PRTR法 第一種指定化学物質(2002年報告分)

(単位:トン/年)

事業所名	対象化学物質名	取扱量	大気への排出量	水域への排出量	土壌への排出量	廃棄物としての移動量	自ら行う廃棄物の埋立処分量	リサイクルのための移動量
山武 湘南工場	ジクロロメタン	18.750	15.100	0	0	0	0	3.650
山武 湘南工場	トルエン	5.300	5.300	0	0	0	0	0
山武 湘南工場	キシレン類	2.510	1.760	0	0	0.750	0	0
山武コントロールプロダクト	ジクロロメタン	36.335	14.735	0	0	0	0	21.600
山武コントロールプロダクト	キシレン類	3.130	2.664	0	0	0	0	0.466
山武コントロールプロダクト	鉛	3.238	0.003	0	0	0	0	1.235

藤沢工場、伊勢原工場、(株)大信は、該当なし(PRTR法対象物質の取扱量が、1トン未満のため) データの対象期間は2001年4月1日～2002年3月31日です
山武コントロールプロダクトの鉛はすべて「はんだ」で、製品への移動量は2トンです